

JR貨物 山陽線 列車脱線事故 経過報告

事故の概要

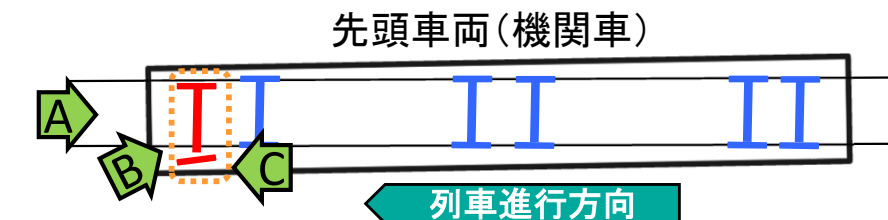
- 発生日時：令和6年7月24日 12時32分ごろ
- 発生場所：山陽線 新山口駅構内（山口県山口市）
- 概要：列車が新山口駅構内を走行中、先頭車両の第1軸が左側に脱線。第1軸は左車輪の内側で折損していた。

判明している主な事実情報

- 機関車の第1軸は大歯車の圧入座において破断していた。
- 大歯車を車軸から取り外したところ、軸表面及び大歯車ボス内面には、顕著なひっかき傷（かじり）が認められた。
- 第1軸の大歯車圧入作業時の記録のうち、圧入力に関するデータは、過去に作業した他の軸のデータに差し替えられ、元のデータは残されていなかった。

今後の調査

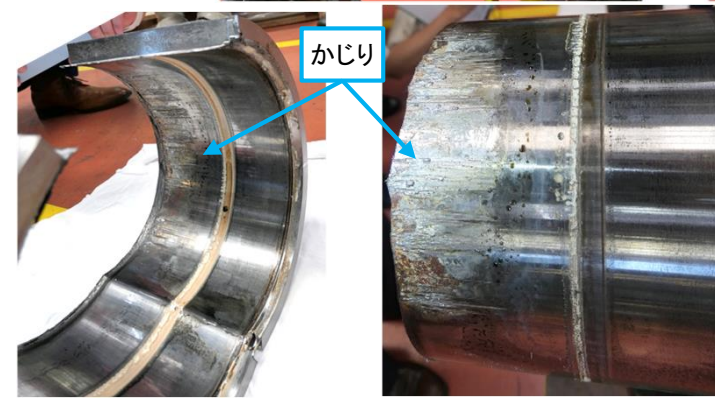
これまでの調査で得られた情報をもとに、車軸折損のメカニズムなど、更なる事実確認や分析等を行う。



前台車の第1軸が進行方向左側に脱線（第1軸は左車輪の内側で折損）



大歯車を切削除去、残ったボス部を割断



(参考) 輪軸の模式図

